

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～25.5℃台を示し、やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり71トンの水揚げで前週の3.4倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり101kgの水揚げで、前週の5.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1,440kgの水揚げで、前週の18倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり12kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり862kgの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり3.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり148kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスとケンサキイカなどが1日1統当たり167kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり248kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり35kgの水揚げで、前週の71%（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイが1日1統当たり41kgの水揚げで前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/10～10/12の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。